

5、令和4年度学習成果・評価（自己点検）

◆教育方針

① 即戦力として活躍できる実務教育

- ・実践教育を目指し、実習重視の傾向が強くなり座学へのフォロー体制の弱点への改善に努め、実習においても成果物への技術向上がみられた。

評価：2

- ・キャリア教育の推進については積極的に取り組めた。

評価：3

- ・本年度は2講座の授業内容の改善を行うことができた。

評価：3

*総評：国家試験対策に傾注する傾向がみられたが、一方実務教育の実践にも務めた。

② 学生に対し責任を持ち、信頼される教育

- ・4名の退学者、1名の通信編入があったが、国家試験においては100%合格達成した。

評価：3

- ・試験対策授業（座学）は一定の成果がみられた。

評価：4

- ・グループワークを中心に学生のやる気と意欲を支援し、粘り強く取り組むことの大切さを理解させた。

評価：3

*総評：学生指導の目標値のばらつきに関しては改善されてきている。

③ 学生と教職員のコミュニケーションの通う少人数教育

- ・一人一人に対応した指導による、個性豊かな人間教育。

教職員の経験不足

評価：2

- ・エゴグラムならびにアンケート結果により日常の生活や悩みに対応した。（分析：難点）

評価：3

- ・卒業生全員の就職が確定した。

評価：4

*総評：学生とのコミュニケーションに偏りに工夫が必要。

◆学習支援・教育環境

1、交流・連携

- ① 総合学科高校校長会への新規働きかけ（専修学校各種学校協会）

- ② 学園広報担当者の教務との共有化・・・OC委員会
- ③ 私立学校協会との交流・・・・・・・・・・年2回情報交換
- ④ 業界広報との連携を深め情報収集をまめに行った。

評価：3

*総評：学生中心の委員会の中での指導にバラツキに対しての改善ができていない

- 2、専修学校協会との連携を密にし、県教育推進プログラム
「仕事のまなびば」事業への参画ならびに「チャレンジスクール」
事業への積極的に参画し、キャリア教育の推進を図る。
(各3講座実施)

*神奈川県人づくり推進ネットワークとの協働。

評価：4

*総評：厳しいスケジュールの中でもしっかりと実施できた

- 3、産学公連携「リトライ事業」講座への企画立案(1講座)

評価：2

*総評：企画の立案に対する情報不足があった

- 4、教職員福利厚生への検討。

・コロナ禍の為、実施できずに見送られた計画が多かった

評価：2

*総評：継続的に取得してゆきたい(1人2教科)

- 5、校長研修会・教職員研修会・職業教育研修会への積極的な参加。

・専各研修や理美容教育センターの研修、また、関東地区の
研修に参加をし、積極的に他校との情報交換を行った。

評価：3

*総評：有効な研修内容の吟味が必要

- 6、専門学校委員会への積極的な参画

・高校への実質的なアプローチの為、専門学校委員会事業への参加。
・専門学校各種学校主催校内ガイダンスならびに進学ガイダンスへ
積極的に参加した。

・他校情報の収集・分析も積極的に行った。

評価：3

*総評：予算の面で苦勞したが、次年度に生かせる情報が取得できた

- 7、危機管理対策の検討と充実。

個人情報保護法に関する学園個人データの扱いや、学園情報の
セキュリティ・著作権・HPなどの管理対策の構築、ならびに

私立学校法の改正に伴った寄付行為の変更に基づく学園運営の基盤の再認識（役員会等）。

マイナンバー制度に対する学内規定の遵守。

評価：3

*総評：再検討が必要、HPリニューアル

8、美容学科カリキュラムの充実と学科の再編

*国家試験対策の体系化と実習授業の再編

*ヘアショーの充実

*ニーズに合った演習コースの検討

評価：3

総評：職業実践専門課程、学費支援等要構築

9、校外活動・体験学習の充実

（学内ゼミの開催や作品制作。各種ボランティアへの積極的な参加）

（JC・MU・HD 各ゼミ充実）

評価：4

*総評：文化論ゼミは特に充実したゼミとなった

10、美容関連の公開講座の企画実践

（在校生・卒業生・業界対象）

・コロナ禍にも拘わらず積極的に企画実施した。

評価：3

*総評：美容関連講座の検討が必要

11、美容分野を活用した、各種セミナーの施策、検討・実施

評価：3

*総評：特になし

12、県立高等学校とのコンソーシアム企画立案と実践

（令和3年度：2講座登録）

評価：3

*総評：県教委との信頼関係を築くことができた。